

月刊 笑

Vol.30
2026.5.25



Topics

新天地

千寿会での成長記録

笑顔と「その人らしさ」に寄り添うケア

特別養護老人ホーム陽光園本館

「一つの大きな家族」を目指す

特別養護老人ホーム陽光園東館

継続的なケアの形

デイサービスセンター陽光園

「自分らしさ」を支える場所へ

住宅型有料老人ホーム 太陽の丘

「自分らしさ」を支える場所へ



住宅型有料老人ホーム 太陽の丘

2026年4月、当法人独自の広域型施設として再始動した「太陽の丘」。

入居条件の緩和や給食導入など、体制を一新し利用者様の「自分らしさ」を支えています。リニューアルに伴う変化や、チーム連携で実現する安心のケア、そして今後のビジョンに迫ります。

リニューアルによる変化

広域型への移行と条件緩和

3月までの委託事業から、当法人独自の「住宅型有料老人ホーム太陽の丘」として再出発しました。現在は住所地を問わず、要支援1から要介護5の方まで幅広く受け入れ可能です。家賃などの設定も見直し、どなたでも入居しやすい施設を目指しています。

給食導入によるケアの充実

給食サービスの開始により、厨房から温かい食事が提供されるようになりました。以前は利用者様ご自身やヘルパーが食事を準備し、各自のペースで召上がっていました。現在は厨房から温かい食事が提供されるようになり、皆様一緒に食卓を囲んで楽しんでいます。職員の調理負担が軽減されたことで、見守りなどの本来のケアに専念できる時間も増えました。



住宅型有料老人ホーム太陽の丘
生活相談員
いわむら ゆか
岩村 友香さん

自分らしさと自由を支える日常ケア

意向を尊重した自立支援の徹底

日常のケアで大切にしているのは、利用者様がご自身で行っていただくことです。洗濯物干しや掃除も、ご本人の意向を汲み「一緒にやりましょう」とお声がけしています。職員はできない部分を補う役割に徹し、お一人おひとりの自立した生活を支えています。

集会室で育まれる交流と楽しみ

建物の中心にある集会室は、談笑やテレビ鑑賞、カラオケなどを楽しむ憩いの場です。渡邊管理者の補助を受けながら円滑な運営に努めており、利用者様が自分らしく穏やかに過ごせる雰囲気づくりを常に心がけています。



▲食事風景

スムーズなチーム連携の秘訣

他部署との連携で守る夜間の安心

夜間は他部署からの応援職員を含めた当直体制を敷いています。当直者への申し送りでは、利用者様の状態や注意点を詳細に共有。発熱などの変化も迅速に引き継ぐことで、24時間の安心を提供しています。緊密な連携があるからこそ、確実な情報共有が可能になっています。



▲玄関

理想の施設像

安心できる生活と居住空間を目指して

夫婦やご兄弟で入居可能な「夫婦部屋」も備えています。環境を変えることは大きな決断を伴うため、見学を通して十分ご納得いただいた上で入居していただきたいと考えています。今後も、皆様が安心して自由に過ごせる居住空間を追求し続けます。共に支え合える新しい仲間のお入居も歓迎しています！



▲個人のお部屋

新天地

千寿会での

成長記録

当法人へ入職後、新たな環境で自分自身のケアを見つめ直しているお二人をご紹介します。
利用者様のより良い暮らしのため、常に成長を止めないお二人の熱い思いに迫ります。



みんなの家
看護師
こほり さや
小堀 紗耶さん

成長したと感じるところ

数少ない医療専門職としての自覚が育んだ「決断力」

私は2025年10月、約5年間の病院勤務を経て入職しました。病院より看護職員が少ない分、自ら判断する大切さを実感しています。ケアワーカーとの連携時には「注意すべき症状」をしっかり伝えるなど、日頃から医療専門職としての責任感を意識し、緊急時の判断力も高まりました。



大切に向き合っていること

多角的な視点で生活を支える難しさ

生活の場において、自立を促しつつどこまでサポートするか、日々葛藤しています。高齢者にとって転倒は命取りになるため、ご家族様との連携による防止策が欠かせません。さらに、内服管理や既往歴を踏まえた小さな変化への気づきなど、多角的な病予防の視点も不可欠です。利用者様が望む在宅生活を長く支えるため、ケアワーカーやケアマネジャーから「現場の知恵」を吸収しつつ、一人ひとりの状況を深く理解した上での関わり方を心がけています。

今後の目標

利用者様の思いを叶える「架け橋」へ

祖母が「みんなの家」を利用していた際、私自身も家族の立場で関わった経験から、「ご家族様の思いも大切につつ、利用者様のことを一番に考えられる看護師」でありたいと思っています。適切な判断力や医師とのコミュニケーションスキルを磨き、利用者様の思いを叶える仲介役を担っていくことが目標です。また、今後は看取りの分野にも視野を広げていけたらと考えています。



特別養護老人ホーム悠優かしま
介護職
わせだ ゆきこ
早稲田 由紀子さん

成長したと感じるところ

基本を見直して得た新たな自分

前職で15年ほど介護職に就いていましたが、当施設に入職してからは一から覚えることばかりでした。特に成長を感じるのはパッド交換の技術。先輩職員から痛みを伴わない工夫や効率的な手順を学びました。長年の経験があっても基本を見直し、新たな方法を取り入れることで、自分自身もスキルアップできていると感じます。



大切に向き合っていること

接し方や言葉遣いは永遠の課題

難しさを感じているのは利用者様との接し方です。自分の選んだ言葉で利用者様を不快にさせてしまったのではないかと悩むこともありました。同じように接しているつもりでも、日によって利用者様の体調や気分は異なります。そのようなときは、上司や先輩からの「誰にでもあることだから悩まなくて大丈夫」という優しい言葉に支えられています。

今後の目標

どのようなときでも笑顔で支える先輩へ

今後は秋の試験に向けて、ケアマネジャーの資格取得に挑戦したいと考えています。日々の業務のすきま時間を見つけて、少しずつ勉強を進めているところです。将来的には忙しさに左右されず、どのような状況でも笑顔で先輩に教えられる存在になりたいと思います。皆が仲良く働ける職場づくりのお手伝いができるよう、これからも努力を続けていきます。

笑顔と「その人らしさ」に寄り添うケア

陽光園本館



特別養護老人ホーム陽光園本館
マネージャー
い なる み
井出 成美さん

陽光園本館では「笑顔は笑顔を作る」をモットーに、利用者様、ご家族様、職員が共に笑顔で過ごせる環境を目指しています。日々の声掛けから、外出支援や看取りまで、拠点一丸となって取り組む支え合いの工夫とやりがいを井出さんが語ります。

モットーを体現するための工夫

元氣な挨拶とモチベーション管理

「笑顔は笑顔を作る」というモットーのもと、職員同士で元氣良く挨拶を交わすことを基本としています。体調が優れない職員がいればフォローに入り、急な欠勤が出た際も「お互い様」の精神で協力し合う姿勢が浸透。職員の疲れは利用者様にも直接影響するため、いかにモチベーションを保つかを常に考え、気を配っています。私自身も、休日には子どものクラブ活動の応援に行ったり、観葉植物を育てたりしてリフレッシュ。元気に業務に向き合えるよう心がけています。



「その人らしさ」を支えるケアの具体例

具体例1 最期のご帰宅を実現し、背景に寄り添う

長く入所されていた脳性麻痺の利用者様の「最期のご帰宅」をサポートしました。外出困難でしたが、「帰りたい」との強い思いは職員間で共有していました。天候や体調を考慮した結果、急遽「今日しかない、まずはやってみよう」と夕方からご自宅へお連れすることに。翌日に亡くなれましたが、安心したお顔で帰ってこられたお姿を見て、後悔のない支援を実現できて本当に良かったと感じています。

このとき、ご家族様から「家に帰れたから、安心したのかな」という温かいお言葉をいただきました。日頃から利用者様やご家族様に頼っていただけるよう、まずは日々の声掛けを通じて私自身の顔を覚えていただくよう努めています。その上で現在の様子だけでなく、これまでの人生やお人柄など、私たちが知らない利用者様のお姿をお聞きすることを意識。対話の中で提案を行い、お一人おひとりに合った関わり方を模索しているのです。

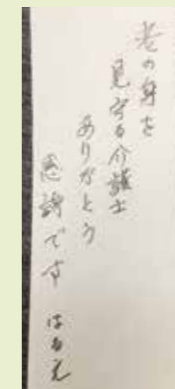
具体例2 ご家族様と連携した外出支援

別の利用者様の事例ですが、職員が月に1回の地域のサロンへの外出支援を継続的に提案した結果、ご家族様もサロンへの付き添いや外出などに協力してくださるようになりました。外に出ることで周囲から声を掛けられ、生き生きとされる利用者様のお姿を見られたことは、私たちにとっても非常に印象深い出来事です。

日々の活力

感謝の言葉を胸に

最近入所された101歳の利用者様から、「老の身を見守る介護士 ありがとう」という直筆の俳句をいただきました。優しく見守る介護士に対して感謝の気持ちを詠んでくださったもので、自分たちのケアが心に届いた証として、職員にとって何よりの励みになっています。日々の業務の中でつまずくことがあっても、このようなお言葉をいただくと「また頑張ろう」という大きな活力になります。これからも、利用者様が安全・安心に過ごせるよう気を配りながら、笑顔をお届けられる陽光園本館であり続けたいと思います。



101歳の利用者様

「一つの大きな家族」
を目指す

陽光園東館

「東館を一つの大きな家族にしたい」、その思いを胸に、陽光園東館では利用者様やご家族様と「なじみの関係」を築くための様々な工夫を凝らしています。職員一丸となって取り組む日々のケアや、動物たちとの温かい触れ合いの様子をお伝えします。



特別養護老人ホーム陽光園東館
まえだ
前田 ゆきのさん

良い関係を築くためのコツ

行事を通じた交流で深まる「なじみの関係」

東館では、家族会や行事を定期的で開催しています。まずはご家族様へご案内をお送りし、行事に参加していただくよう呼びかけを実施。このようにコミュニケーションを深めることで信頼関係が築かれ、今ではご家族様からも気兼ねなく声をかけていただけるようになりました。また、回数を重ねるにつれて、ご家族様同士が事前準備を話し合っ進めてくださったり、利用者様同士が仲良くなられたりと、横のつながりも広がっています。



笑顔を体現！モチベーションを保つ秘訣

プロ意識とチームの支え合いで笑顔を届ける

東館では、千寿会のキャッチフレーズである「笑顔」を大切に、常に明るい挨拶や声掛けをすることを職員全体で共有しています。利用者様にとってはここでの生活が日常のすべてであり、私たちの表情1つで気分が左右されてしまうからです。一方で、体調不良などで笑顔を保つのが難しいときは無理をせず、周囲がフォローに回るなど、各々がプロ意識を持って柔軟に対応することが不可欠です。日頃から悩みを相談しやすいよう声をかけ、一人ひとりの話を聞いて丁寧に向き合うよう努めています。



最期まで寄り添う 職員間の連携と工夫

風通しの良い環境で、利用者様のペースに合わせたケアを

最期まで東館でお過ごしになる利用者様も多くいらっしゃいます。「ここで良かった」と思っただけのよう、利用者様のペースに合わせ、不快な思いをされないケアを職員全員で心がけています。状態に変化があった際は、カンファレンスで話し合いを実施。利用者様がどのようなケアを求めているかに視点を置き、新しく入職した職員もベテランも関係なく、全員で意見を出し合える風通しの良い環境を整えています。



看板犬「きなこ」と猫の「大福」がもたらす影響

温かい変化を生み出す、動物たちの寄り添う力

1歳のコーギー「きなこ」と保護猫の「大福」がいます。きなこは、挨拶の仕方や力加減を学びながら修業中ですが、犬好きな方との交流のきっかけになっています。一方、大福は看取りの時期を迎えた利用者様にそっと寄り添うなど、言葉を越えた優しさを見せてくれます。動物との触れ合いは好みが分かれるため、無理に距離を縮めることはしません。好きな方は存分に楽しみ、そうでない方は適度な距離で静かに見守るなど、一人ひとりの意思を尊重した心地よい調和を大切にしています。



継続的なケアの形

デイサービスセンター-陽光園



職員が作り出す明るい雰囲気と、親戚のような距離感で利用者様と接する陽光園の通所介護。地域支援からデイサービス、その後の入所まで途切れることなく連携する、継続的なケアの形を紹介します。



▲お花見の様子



私が紹介します！



デイサービスセンター
陽光園（通所介護）
はやしだ こういち
林田 浩一さん

陽光園の魅力

笑顔を引き出す環境 : 最大の魅力は職員の明るさです。ベテラン職員が多く、信頼して業務を任せられる体制で、その安心感が利用者様にも伝わり、施設内は笑顔が絶えません。辛さや落ち込みを抱える方の気持ちもケアリーダーを中心に拾い上げ、皆で解決へ動くことで、本音で話せる環境作りが心がけています。

壁を作らない関係 : 日頃から親戚のおじいちゃん、おばあちゃんのような距離感を大切に、気軽にお話していただける関係性が目標です。職員は同じ美里町出身者が多く、私の祖父母と同級生の利用者様もいらっしゃるため、地元の話題から入り、壁を作らないように接して親近感につなげています。

他施設との違い

生の楽器演奏会 : 2か月に1回、エレクトーンやトランペットの演奏会を実施しています。利用者様からの声をきっかけに、ご家族様や有志の皆様が自ら演奏にご協力くださり、実現した活動です。生の音色に触れ、音楽に合わせて皆で歌い、手を叩いて笑顔になれる機会があることは非常に良いと感じています。

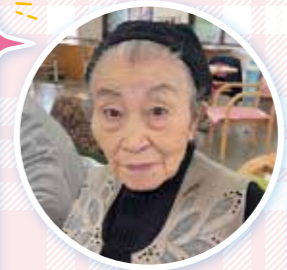
関係性が続くケア : 当施設は役場から地域支援も委託されており、そこからサービス、他施設への入所までサービスが途切れずにつながっています。デイサービスのご利用終了後も交流は続き、職員間で利用者様の情報をスムーズに共有できるため、一時的なサービスにとどまらない継続的なケアを実現しています。

利用者様のコメント

以前は陽光園でボランティア慰問をしていて、入所されている方の様子も見ていたので、自分がデイサービスに行く時決まったらどうしようかと迷ったけれど、来てみたら同級生や顔なじみとはたくさんおしゃべりできて楽しいし、ごはんも美味しいから、今では来るのが楽しみになりました。もう6年くらい来てるけど、デイがないと生きていけないわ。



家に居ると話すことも少ないけど、デイではいろんな人といっぱい話せる。来る人も職員さんも良い人ばかりで文句なし。今からの人生、世話にもならにゃんけどみんなと仲良くもしていきたい。これからもよろしくね。



▶お誕生日会



◀ご利用者様とカラオケでデュエット